

# たかしまウオッチ



●発行／たかしま市民協働交流センター

紙ごみ減量の目標を達成するには全市を上げての取り組みが必要です。この為、高島市シルバー人材センターと高島市エコライフ推進協議会が高島市との協働事業として、学校や区・自治会に出向いて紙ごみ減量の環境学習を始めています。

ごみ分別方法には、言葉で聞いただけでは理解しにくいローカル・ルールもありますので、区・自治会などの団体単位で受講し 市民全員が力を合わせて日本一を達成しましょう。

Q. お菓子の紙箱は  
どの分類で出すのですか？

Q. 包装紙や封筒は？



**めぞうよ!! 紙ごみ減量 日本一**  
平成 21 年度 紙ごみ：年間 14,125 トン (処理費用 約 14 億 5 千万円)  
↓  
平成 25 年度目標：年間 11,000 トン以下 (平成 21 年度比で 22% 減!)



マキノ東小学校

A. “その他古紙”として出して下さい。



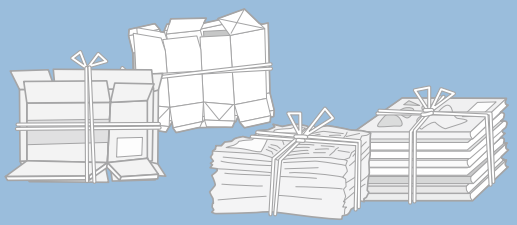
今津東小学校



高島地域 港自治会

## ●環境学習出前講座のお申し込みは・・・

- 各区・自治会
  - ▶高島市シルバー人材センターへ Tel 36-8191
- 幼稚園・保育園・小中学校・各種団体
  - ▶高島市エコライフ推進協議会  
紙ごみ減量プロジェクト事務局へ Tel 28-8002
- 事業所(企業)等
  - ▶市役所・環境政策課へ Tel 25-8123



## ◆目次

- P 1・2 郷土の偉人たち
- キラキラ☆NPO・市民活動
- P 3 高島万葉の会
- P 4 安曇川町川島区
- P 5 わがまち散歩～すてきたかしま再発掘～  
言の葉たより 白坂
- P 6 「半世紀の会」大同窓会  
“高島市着地型観光資源ガイド”完成
- P 7 たかしま INFORMATION

中江藤樹先生や、前号で紹介した藤本太郎兵衛さん以外にも、学問を究めた人達や、難工事の末、集落の危機を救った方々やビジネスの世界で成功をおさめた人など、高島には多くの偉人と呼ばれる人達がおられます。しかし、意外と一般には知られていないのが事実

です。今回は自然の豊かさや歴史資産とは違った高島市の魅力として、そうした人々にスポットを当てました。先人達の功績を知り、平成の今、我々が出来ることは何か？ そんなことのヒントになれば幸いです。

幕末の志士たちに大きな影響を与えた

## 浅見 綱齋 (新旭地域出身)

今年没後300年をむかえる浅見綱齋は、中江藤樹が亡くなって4年後の承応元年(一六五二)に新旭町太田で生まれ、名を安正、字を重次郎と言いました。京都で医学を学び、26歳ごろ晩年の山崎闇斎に從学し、佐藤直方や三宅尚斎と共に崎門三傑と称されました。

清貧窮乏でありましたが志を曲げず、貞享元年(一六八四)に執筆を開始したのが、やがて勤皇の志士のバイブルともなった「靖献遺言」です。これは中国の忠孝義烈の士8人(屈原・諸葛孔明・陶淵明・顔真卿・文天祥・謝枋得・劉因・方孝孺)の評伝であり、貞享四年(一六八七)に8巻が完成し、刊行されました。これは幕末に広く読まれ、志士たちに大きな影響を与えたといわれています。

貞享三年頃から、綱齋に入門する者が増え、京都の錦小路に住んでいたので、錦陌講堂と名づけた塾を開きました。この塾とは別に、元禄二年(一六八九)からは、東山の亭や寺を借りて、東山会と証する特別講義を行うようになりました。正徳元年(一七一二)末に59歳で死去するまで、多くの著作を残すとともに、弟子の養成に尽くしたと言われています。亡くなるまで門人に教授し、その講義の

内容は弟子たちが記録した「師説」と称される筆記類に残されています。綱齋の墓所は京都烏辺山にあります。郷土の新旭町には彼の遺徳を偲び、大正十三年に綱齋書院が建立されました。そして昭和五十一年末に新旭町区長会に諮ったうえで、翌五十一年に保存会が誕生し顕彰にあたっています。



マキノ西浜の石積みを築いた

## 西与一左衛門 (マキノ地域ゆかり)

平成20年3月28日、「高島市海津・西浜・知内の水辺景観」が国の重要な文化的景観として選定されました。現在、この海津・西浜には約1、2kmにわたって続く高さ2、5m前後の強固な石積みがあり、琵琶湖の大波から集落を守ると同時に、綺麗な水辺空間を形作っています。

この石積みは、元禄14年(一七〇二)に西浜村に就任した甲府藩領代官の西与一左衛門が、大波によって度々石垣が崩れて苦しむ村人達に同情し、幕府の許可を得て元禄16年(一七〇三)に強固な石

垣築造を成し遂げたものです。西与一左衛門は5年間代官として西浜村で仕事をしましたが、民情に厚く、石垣築造の他にも荒れ地の田租を免除するなど数々の仁政を施したことから村人から慕われ、今も毎年3月15日に法会が営まれています。



巨大百貨店グループ高島屋創業のきっかけを作った

## 飯田 儀兵衛 (今津地域出身)

享和三年(一八〇三)に高島郡南新保村(現・高島市今津町)に生まれた飯田儀兵衛は、江戸時代の終盤京都で米穀商を営んでいましたが、高島郡出身

百貨店グループ高島屋創業の謂れです。旧制今津中学校(現・高島高校)が設立された際には、高島屋から多額の寄付を受けた他、昭和48年の高島屋創業

であることから「高島屋飯田儀兵衛」と名乗りました。その娘婿の鉄次郎(初代飯田新七)が古着・木綿商を始め、本家と同じ高島屋を冠した「高島屋飯田呉服店」と称し、一九一九年には株式会社高島屋呉服店としました。これが巨大

一五〇周年には財団法人高島屋奨学金高島育英会が設けられ、今も高島市の多くの若者達がこの育英資金を受けて学んでいます。

# 郷土の偉人たち

高島市

医療活動に心血を注いだ

たかしま げんしゅん  
**高島 玄俊** (朽木地域出身)

文政元年(一八一八)に朽木宮前村で生まれた高島玄俊は15才頃に仏門に入りましたが、天保四年(一八三三)から四年間続いた天保の大飢饉により、毎日多数の飢餓者を目にして医師を志しました。

讃岐国丸亀藩(現・香川県)で漢方を学び、天保七年(一八三六)からは京都で西洋医学にも通じました。その後、玄俊は見聞を広めるため中国地方や九州方面に出発し、府内藩(現・大分市)で安住の地を見つけて開業した時には、列が出来るほど人が集まったと言われています。



貧しい人からは薬代を取らず、困っている人には金品を与えるほどでした。その努力によって府内藩で10年目に藩の医事監督になり藩医として活躍しました。

遠く大分の地で民生福祉に尽くした玄俊の偉業を讃え、朽木宮前坊の生家跡地には顕彰碑が建てられています。また、高島の姓は、高島郡出身であることから府内藩で名乗ることを許されました。

扇骨産地の基盤を作った

いほ じゅたろう  
**井保 寿太郎** (安曇川地域出身)

安曇川流域の地場産業として発展した扇骨生産の起源については諸説あるようですが、徳川五代将軍綱吉の頃に太田(現・新旭町)の長谷川玄斎が安曇川の氾濫を防ぐ水防と扇子生産の為に良質の竹を植えたことが史実として残っています。その後、戸島忠兵衛がこの竹林に目を付け農民の仕事を確保する為に扇骨業を広めました。



幕末の頃、西万木生まれの井保久吉が尾張から高度な扇骨生産技術を導入して生産性の向上を図り、更にその甥の井保寿太郎が工場での一貫生産を行って京都や大阪に販路を拡大しました。彼は、扇子を日英博覧会に出品するなどの努力も行い扇骨産地の安曇川としての基盤を確たるものとししました。

淡海湖を造り水を確保した

まつもと ひこへい  
**松本 彦平** (今津地域出身)

高島郡川上村(現・高島市今津町)の酒波・伊井・平ヶ崎・構集落は水田が少なく、干ばつに苦しんでいました。川上村平ヶ崎に生まれた松本彦平は、灌漑用人造湖である淡海湖を築造し隧道(トンネル)を掘って水を確保するという難事業に取り組みました。

大正3年には淡海耕地整理組合を

設立し初代組合長となり、事業のとりまとめと資金調達に奔走しましたが、隧道は工事途中で崩落するなど工事は困難を極めました。大正4年暮れ、ようやく隧道が貫通しましたが、彦平は工事の完成を見ることなく大正8年に他界し、その意志は長男彦五郎に受け継がれ、大正12年に全事業の完成をみえました。

北方探検家の

こんとう じゅうぞう  
**近藤 重蔵** (高島地域ゆかり)

寛政十年(一七九八)以来5回にわたって蝦夷地のクナシリ・エトロフ両島を探検した近藤重蔵(号は正斎)は高島出身ではありませんが、長男富蔵が不始末を犯したことから親の監督責任を問われて、大溝藩分部家にお預けの身となりました。

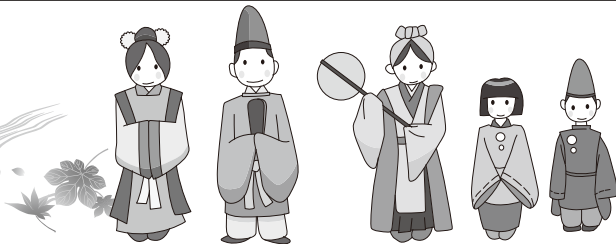
大溝に幽閉されてから3年目に亡くなりしましたが、その間大溝藩士の師弟を集めて講義をしたり、共に近江の植物年鑑誌にあたる『江州本草』30巻(現在は行方知れず)を著しました。



明治44年、探検の功により正五位を贈られ、『近藤正斎全集』三巻(国書刊行会)が刊行されました。重蔵の足跡を示す遺品は、高島歴史民俗資料館に大切に保存されています。

# 高島万葉の会

## きらきら☆NPO市民活動



### 万葉集と高島市

何処にか船乗しけむ

高島の香取の浦ゆ漕ぎ出来る船

(巻七一七二)

わが国最古の歌集である『万葉集』には高島市が10首詠われているそうです。中でも、高島地域の勝野周辺は半数を超える6首が詠まれています。一つの地域がこれほど沢山詠まれているのは珍しいと言われています。

### 万葉研究家と共に高島を学ぶ

高島公民館を拠点として、高島在住の万葉研究家、藤井五郎さんを講師に、年10回『万葉集』を学んでおられる約40名の人たちが「高島万葉の会」の皆さんです。会員は市内全域はもちろんです。会員さんからは「万葉集」を学ぶことで、改めて高島の魅力を再発見し、万葉人に感動を与えたこの美しい高島を、次の世代に伝えていきたいと願ったり、千年以上経っても変わらない人間の感情を知ることによって今の時代を振り返ることも出来、楽しく面白く学んでいます。そして、年1回万葉ゆかりの地を訪れる研修旅行も大変楽しみます。「という言葉が返ってきました。

幸いにも、さほど開発の波に洗われなかった高島市は、現代人の心を癒す風景を保っています。今後もししえを偲ぶことのできる景勝の地として存続させたいと、会員の皆さんは学んでおられるようです。

### 万葉の世界を再現！

昨年度のガリバー文化祭では、会員手作りの万葉の衣装をまとって勝野で読まれた6首を朗詠すると同時に、そのバックグラウンドで歌碑やその周辺の景色をスライドで流す試みを行ったところ、本当に文化祭にふさわしいパフォーマンスであると会場の皆さんから大きな評価を得られ、会の活動に大きな励みになったと会員の皆さんも大満足されました。



### 万葉時代を偲ぶ場所に万葉歌碑建つ

「万葉の会」では、発足10周年を記念して、高島市の支援を得て、来る9月29日には琵琶湖や乙女ヶ池が一望に見渡せる場所に新しく6基目の歌碑を建立し除幕式が執り行われます。



歌碑建立場所より



お問い合わせ： 高島万葉の会 蔵崎 博之  
Tel.36-0142

参考にした資料： 藤井五郎著『淡海万葉の世界』  
サンライズ出版発行

新しい歌碑が建つ場所から琵琶湖を望むと、伊吹山が前方に見え、手前には万葉の時代前後に起きた「壬申の乱」や、「惠美押勝の乱」の舞台となった乙女ヶ池が目の前に広がります。ぜひ皆様も新しい万葉歌碑から千数百年前の歴史の地高島に思いをはせて下さい。  
(文責：たかしま市民協働交流センター)



乙女ヶ池畔



安曇川町の南部消防署前を船木方面に向かって車を走らせると、「国土交通大臣賞受賞の町かわしま」と言う大きな看板が目に入ります。幹線道路からは特に変わった様子は感じられませんが、一步集落内に足を踏み入ると...



この基金創設によって行政の補助金などの自己資金(負担)が確保され積極的に使える様になり、新しいまちづくりの事業が急速に回り出しました。そして、ここでは紹介しきれないほど多くのまちづくり事

業が進んだ結果、平成21年度には国土交通省から近畿で2件しか選ばれなかった「手づくり郷土賞」を受賞するという栄誉に輝きました。この受賞を契機として、改めて「区民の安全安心の実現を図る」ことを目標に、区を上げて知恵と汗を出してまちづくりに邁進しようという決意を新たにされているそうです。また、この間の20年を越えるまちづくりの取り組みの中で30・40代の会が結成され、広域的視点に立った地域づくりを担う力が形成されてきたそうです。



区を上げての復旧から復興へと大変な苦勞と努力の日々が続いたそうです。そんな姿を見て育った次世代・次々世代の人達が、未来につながる川島区のまちづくりを考え、平成元年に「区規約」が制定され、そして役員体制が整えられました。更に平成4年度には区民アンケートを取って、「清水と緑の郷づくり」をテーマとするまちづくり計画の策定につながります。平成9年度には滋賀県との間で事業を実施するために「近隣景観形成協定」が締結され、各戸がお金を出し合って「特別事業基金」が創設されました。

最近も滋賀県建設産業団体連合会から避難所ともなる区民グラウンドに「かまどベンチ」が寄贈、設置されました。普段はベンチに、区イベント



川島区のまちづくりの特徴は、その原点が安曇川大水害にあることから、防災・減災対策を強く意識しつつ、同時に景観環境を整備していくという複合的で持続可能なスタイルですが、多くの人が得意分野で役割を分担しながら、市や県、その他の団体などの協働関係をもって全員参加でまちづくりをされていることです。

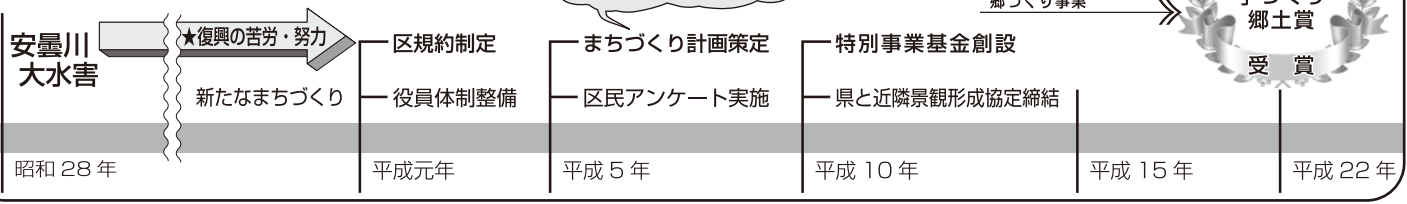
川島区が進んだ結果、平成21年度には国土交通省から近畿で2件しか選ばれなかった「手づくり郷土賞」を受賞するという栄誉に輝きました。この受賞を契機として、改めて「区民の安全安心の実現を図る」ことを目標に、区を上げて知恵と汗を出してまちづくりに邁進しようという決意を新たにされているそうです。また、この間の20年を越えるまちづくりの取り組みの中で30・40代の会が結成され、広域的視点に立った地域づくりを担う力が形成されてきたそうです。

## まちづくりの歩み

《テーマ》  
清水と緑の郷づくり



安曇川堤防右岸整備事業  
近隣景観事業  
郷づくり事業



### 【取材を終えて】

集落内の防災や景観環境面の整備事業だけでなく、安曇川の堤防の荒れた竹林を整備し、1キロメートルに渡って350本の桜を植栽されるなど、積極的に幅広いまちづくり活動をされている川島区は、現在JR安曇川駅と新旭駅間をサイクリングで探訪するルートの間地点となつていきます。多くの市民の方々にゆつくりと訪れていただきたい素敵な集落です。

(文責：たかしま市民協働交流センター)

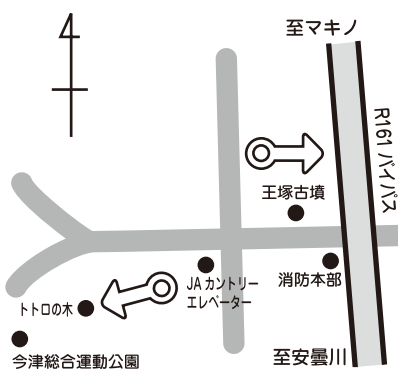


# わがまち散歩

## すてきたかしま再発掘

いつも見慣れたまちを、  
ちよつと視点を変えて見てみる  
と意外な発見があるものです。  
例えば、いつも車で通る幹線道  
路から集落内の旧道に入ってみ  
るとか、子どもの気持ちになっ  
て風景を見直してみるとか…

今回は素直な心を持った子ど  
もたちにはハッキリ見える不思  
議な形をした「木」の紹介です。  
R161バイパスを今津町日置  
前ランプで下りて箱館山に向  
かって少し行くとカントリーエ  
レベータがあります。その裏手  
西側にまわって運動公園の方を  
見ると…



ホラッ、こんなところにトト  
ロが座っています。



このトトロの木の近くには王  
塚と言つ名前前の古墳があります  
が、カントリーエレベータの北  
側に立って琵琶湖を見ると、王  
塚古墳、竹生島、伊吹山が東西  
方向に重なって見通せます。春  
分、秋分の日には霊峰伊吹山、  
竹生島から昇る朝日のパワーが  
もらえる、と言つとインカやピ  
ラミッドにもその様な話があり  
ますが、このあたりは高島市の  
パワースポットでもあるので  
す。

# 言の葉たより

市外の人が高島市をご覧になった言の葉の紹介です。今回はブログから拾った記事の紹介です。

日記

プロフィール

お気に入り

掲示板

昨年からずっと、気になっていたリトル比良の白坂。  
やっと、登れる日が訪れて、ハイテンション

登山口から少し登ると、川（小田川）が流れていました  
透明でキレイな水。ちよつと水遊び

と、ぼちぼち歩いてみると、ん〜

「こつちであつてるのかな？」ちよつと道を間違えながら  
不安になりつつも上つておりました。

そしたら、右手に「白坂」と看板が  
着いたぞ白坂!!

よし、登ってみるか!

と、足を踏み入れたら、そこは砂地。  
岩だと思つていた…。

簡単に登れると思つていただけ、甘かった  
結構滑りますぞ、この斜面。

でも、ここまで来たら登るしかない  
どうしても上からの景色が見たいんだい

ただひたすら上を目指した私。

白坂の頂上に到着

おお  
高島の壮大な景色が広がっている!

めっちゃキレイ!!

田んぼに水が入っていて、  
川が流れている様子も分かつて、湖もみれる。  
感動的な風景で大興奮

「私、大満足です」

で、下山方法は…。

後ろ向きに足を滑らせながら降りたとき

(出典:「じが」農村の魅力発信! by NPO法人木野環境)

harumi



注: 1 白坂は高島地域 吾羽区から登山道「リトル比良」を登ります。

2 NPO法人木野環境は、滋賀県「平成23年度第2号農村の魅力発信プロモーション業務」を受け、  
Blog等において県内農山村の活動等について情報発信を行っています。(記事転載許可済み)

横の長さ 85 mm

縦の長さ 28 mm



次号のたかしまウォッチ第13号  
発行は11月1日前後 締切り10月1日(土)  
規 格 : 縦の長さ 28mm×横の長さ 85mm  
一色刷り  
掲 載 料 : 1か月(1発行限り) 10,000円  
発行部数: 18000部

お問い合わせ

たかしま市民協働交流センターまで【連絡先7ページ下】

昭和36年4月

～昭和37年3月

生まれの情報

心当たりのご家族にも

声をかけて下さい!!

# 開催予告 半世紀の会大同窓会

『半世紀の会』(大同窓会の集い)

日時：平成24年1月2日(月)

10:30 受付 11:00 開宴

於：今津サンブリッジホテル

連絡先が判明している対象者には  
8月に案内状が送付される予定です。

以前より、高島高校の卒業生が満50才を記念して全学年合同同窓会を開催されていたようですが、安曇川高校が独立したり、市外へ進学される方々の増加などもあって、高島市出身の同い年の者が「一堂に会する」ことが難しくなっていました。

そんな折、新制中学29期生にあたる昭和36年4月から昭和37年3月に生まれた高島市在住の有志が発起人となり、来年1月2日に市内6中学卒業生の満50才の集いを「半世紀の会」と称して、合同同窓会を行なう企画を進めています。今回の目玉は、「中学校卒業時点」でくくって、「中学校単位」で呼びかけをしているところです。事情が有って中退した人や他校に進学、就職した人は勿論のこと、西浅井町や志賀町(当時)から高島・

安曇川高校で共に学んだ同級生まで声をかけ、青春時代を高島で一緒に過ごした満50才の全ての人達が集いたいと計画していることです。

人口の減少や少子高齢化により多くの課題を抱える高島市で、出身中学校・高校といった枠を越えて、人生半世紀を迎える者が一堂に会し、旧交を温めつつ新しい絆をつくっていくきっかけにしたいと思っています。単に親睦を深めるだけでなく、高島市応援者を増やす素晴らしいチャンスであると捉えて幹事団一同が頑張っています。

ご家族の該当者にも周知して頂き、「半世紀の集い」が高島市の伝統になるよう、ご協力をお願いいたします。

「半世紀の会」発起人代表 北村一博(高島)

## 連絡先

**マキノ中学**：寺田秀明 青谷正章 中川弥栄一 古川松枝 木下(山川)美和子 **今津中学**：古田剛 内貴浩志 藤原宏 岡本茂喜 江淵(中田)純子 荻野(宮田)晴代 橋本(古谷)弘美 城(玉木)直子 **湖西中学**：中村英雄 藤田淳 川島弘志 永井与志一 早川(八田)芳美 早川(宮川)真由美 井上(桑原)悦子 上原葉子 **安曇川中学**：柴田敬三 下澤辰次 山本修 佐々木靖之 島本祐一 安原(幾田)富士子 渡(山本)由美子 木内(岩谷)小雪 水田(八田)照子 新村(八木)優子 **高島中学**：北村一博 沢田治郎 白井宏和 澤井(前河)靖子 中川(井口)洋子 八木(木津)綾子 **朽木中学**：駒井芳彦 家本博正 松下正旭 藤井讓 山口(谷崎)千栄美 上山(藤本)徳子 辻井(清水)真由美 **西浅井中学**：内田(山本)勝利 **志賀中学**：小畑知史



半世紀の会  
特設掲示板へ

## “高島市 着地型観光資源ガイド” 完成!!



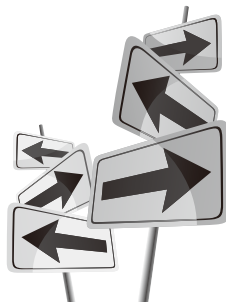
高島市商工会では、着地型観光による地域活性化を目的とした観光資源調査の結果をまとめたガイドブックを作成し、配布を開始されました(平成22年度商工会地域活性化事業)。新しい視点から高島市の自然・歴史・文化・街並みなどを見つめ直し、観光資源として活用するためのモデルコースやエリア、スポットなどとして取りまとめられています。

高島市をもっと知りたい、そしてまちづくりに活用したいと思われる市民の皆様にも、そして市外のお知り合いにも是非読んでいただきたい一冊です。入手ご希望の方は高島市商工会本所または北部センターにお越しただくか、下記の連絡先までお問い合わせください。

なお、協働交流センターでも配布を行っています。

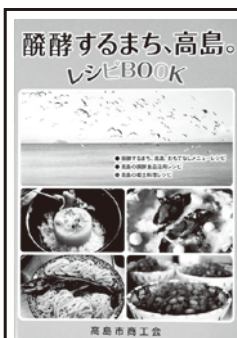
### ♥ 高島の新しい魅力を発見する5コース

- ・琵琶湖の表情の愛でるコース
- ・恋人たちの散策路コース
- ・歴女・城攻めコース
- ・農産物直売所・道の駅コース
- ・パワースポット探索コース など



お問い合わせ：高島市商工会(本所)：高島市安曇川町田中89 TEL 32-1580

(文責：たかしま市民協働交流センター)



高島市の発酵食品などを使ったおもてなしメニューのレシピや郷土料理レシピなどが満載の「発酵するまち、高島。レシピBOOK」も同時配布されています。

(平成22年度合併等地域振興推進事業)

# たがしま INFORMATION

## ヴォーリス JAZZ NIGHT 2011

今年のヴォーリスは元気 JAZZ !

日 時：9月3日(土) 19:00～21:00  
場 所：ヴォーリス公園特設ステージ  
\*雨天の場合は今津教会で開催  
出演者：白川ミエ+浜田博行カルテット  
Big Bell  
料 金：無 料  
主 催：ヴォーリスジャズナイト実行委員会  
☎ 090-8936-0869

## 関西フィルハーモニー管弦楽団

### リラックスコンサート 2011

“Power of Music” ～音楽の力を信じて～

日 時：9月18日(日) 14:30 開演  
場 所：高島市民会館  
料 金：一般 ¥3,000(1F 指定席)、¥2,500(2F 自由席)、  
高校生以下 ¥2,000  
主 催：高島市 / 高島市教育委員会  
しがぎん経済文化センター  
問い合わせ 高島市民会館 ☎ 0740-22-1764

## 高島市障害者就労支援事業所協会の ロゴマーク・絵画募集

高島市障害者就労支援事業所協会は・・・

企業や関係機関との連携のもと、社会に出て働きたいと前向きに取り組んでいる障がい者を様々な方法で応援し、安定した就業と生活が出来るように支援する高島市内の事業所のネットワーク団体です。

募集内容：高島市障害者就労支援事業所協会のロゴマーク  
働く障がい者をイメージした絵画

発表・表彰：「KOSEI 輝く芸術祭」(高島市民会館にて12月開催)  
で展示と表彰をします。

× 切：10月31日(月)

問い合わせ 高島市障害者就労支援事業所協会  
(事務局：湖西地域働き・暮らし応援センター)  
☎ 0740-22-3876 (9:00～17:00)

## ひきこもり啓発講演会

～ぼくらの不登校・ひきこもり体験談～

日 時：9月10日(土) 14:00～16:30(受付13:30～)  
場 所：安曇川公民館 ふじのきホール

### ・ぼくらの体験談から

不登校・ひきこもりの体験から…………… 不登校経験者  
ひきこもりを経験して…………… ひきこもり経験者

### ・不登校とひきこもり

それぞれの共通点や違い、関わり方を考える  
山本耕平氏(立命館大学産業社会学部教授)

主 催：滋賀県立精神保健センター / 滋賀県ひきこもり支援センター  
高島市教育委員会  
共 催：滋賀県高島保健所 / 高島市  
後 援：社会的ひきこもり家族の会とまとの会  
問い合わせ 滋賀県ひきこもり支援センター  
☎ 077-567-5058

## ガリバージュニア音楽祭 2011

～はばたけ！湖西の子どもたち～

日 時：9月25日(日) 14:00 開演(開場13:30～)  
場 所：ガリバーホール  
出 演：高島少年少女合唱団・安曇川児童合唱団  
今津少年少女合唱団・高島中学校吹奏楽部  
湖西中学校吹奏楽部・今津中学校吹奏楽部  
料 金：¥500(全席自由)  
問い合わせ ガリバーホール ☎ 0740-36-0219

## 琵琶湖と里山を結ぶ秋のハイキング～草木染め体験～

植物図鑑を参考にゆっくりと自然観察をしましょう  
午後から草木染め体験をします(図鑑は無料貸出)

日 時：9月26日(月) 10:10 集合  
集合 / JR 近江今津駅 解散 / JR 新旭駅  
歩 程：約8 km  
料 金：¥500(保険代他)  
× 切：9月21日(水)  
問い合わせ・申込  
(社)びわ湖高島観光協会 ☎ 0740-22-6111  
主 催：あいば地区自然観察グループ

## たがしま市民協働交流センター

たがしま市民協働交流センターは、市民活動、NPOを応援しています。

- ◆ 〒520-1622 滋賀県高島市今津町中沼1-4-1  
(今津東コミュニティーセンター内)
- ◆ TEL: 0740 (20) 5758 FAX: 0740 (20) 5757
- ◆ URL: <http://tkkc.takashima-shiga.jp/>
- ◆ E-mail: [webmaster@tkkc.takashima-shiga.jp](mailto:webmaster@tkkc.takashima-shiga.jp)
- ◆ 開館時間：10時～19時
- ◆ 休館日：日曜日・祝日・年末年始(12/28～1/3)

本誌で紹介できなかったイベント情報や助成金・補助金情報を、貴方の携帯電話にメールでお届けします。(毎週金曜日)



“高島市まちづくりメルマガ”

- ・左のQRコードを読み取り空メール
- ・返信メールの指示に従いクリック!

情報誌やメルマガであなたの活動を紹介します。  
左記へ連絡ください。



この印刷物は、古紙パルプを配合した再生紙と大豆油インキを使用しています。